

ケンコーレポート

KENKO REPORT

vol.22

第65期

2021年4月1日～2022年3月31日



障がい者アーティスト cocoa float 氏／作
作品名「散歩道」

 Paralym Art®

ケンコーマヨネーズはパラリンアートを応援しています

パラリンアートとは
障がい者アーティストの経済的な自立を目的とし、
彼らのビジネス支援を行う活動です。



KENKO
ケンコーマヨネーズ株式会社

目の前の課題解決とともに長期ビジョンを描き、 次世代に繋げる未来を創造してまいります。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

急激に変化する事業環境の中、

当社はこの先も明るい未来を創造していくため、

中長期的な視点にたって行動してまいります。

代表取締役社長

炭井孝志



当社を取り巻く環境について

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に加え、過去に類を見ない食用油相場の高騰、エネルギーコスト、物流費の上昇等の影響を受けました。その間には鳥インフルエンザの発生による卵価高騰、北海道地区の干ばつによるじゃがいも・たまねぎの不作等、当社を取り巻く環境は異常ともいえる状況でした。その一方で、コロナ禍で構築された新しい生活パターンは定着しつつあり、宅配・テイクアウト需要の拡大やおうち時間を楽しむ工夫など、市場のニーズの変化も感じており、当社も柔軟に、そして丁寧に対応してまいりました。予測できない状況も多くございましたが、変化をみせたニーズに着眼点を得て、新しい取り組みをスタートできたことも事実です。このような厳しい状況の中、目標に対して社員のベクトルを合わせ、前進していく大切さを改めて実感した1年となりました。

2021年度の業績の振り返りを教えてください

当社の2021年度の業績は、連結売上高756億円、連結営業利益16億円、連結経常利益16億円、親会社株主に帰属する当期純利益12億円で、増収減益となりました。

売上面では、新型コロナウイルス感染症拡大防止による飲食店などの休業や営業時間短縮、行動制限が実施されましたが、その影響は軽微なものにとどまり、前連結会計年度比で増収となりました。

利益面では、継続する原材料価格高騰に対して、価格改定に加えて工場の原価低減をはじめとした全社的な経費削減の取り組みを進めてまいりましたが、原材料価格高騰の影響は想定を超えるものであり、減益となりました。

前述のとおり、2021年度は過去に類を見ない事業環境でした。そんな中でも、知恵を絞り、限られた資源を有効活用する方法を模索してきました。中期経営計画「KENKO Transformation Plan」2年目もこの厳しい状況は継続していくと予測しておりますので、様々な切り口で利益改善等の計画を実行してまいります。より明るい未来へと繋げていくため、引き続き、邁進してまいります。

2021年度の主な取り組みについて

2021年度は、新しい生活様式が定着してきた世の中に向けて、中期経営計画「KENKO Transformation Plan」を軸に、数々の取り組みを行ってまいりました。

4つのテーマの1つ『B to B to C』では、小容量商品の拡充や、ブランド認知度向上のためパッケージ変更などのリニューアルを行いました。業務用商品としてテイクアウトや量販店のお弁当へご使用いただいたり、ECサイトや店頭から直接消費者の皆様手に取っていただく場も拡大してきました。ブランド認知度の向上、コロナ禍での食品ロス削減、人手不足解消の面でも評価いただいています。また、当社ホームページでは、内食需要を応援するコンテンツや、3本の工場見学動画等を公開し、当社のメニュー開発力や商品・素材の魅力も発信し、食育という観点からもお役立ていただきました。今後も世の中のニーズを丁寧に汲み取り、新しい挑戦を続けてまいります。

『イノベーション』では「食の楽しさ」や「食スタイル」が提案できる商品開発に注力しています。プラントベースフード商品「HAPPY!! with VEGE」シリーズや、プラスGOODとなる栄養強化・素材へのこだわりを追求した商品、マイナスGOODとなる添加物を減らしてシンプルな原材料にこだわった商品開発を手掛け、今後も様々な切り口の商品を強化していく予定です。他にも、地方創生の観点より、郷土料理の商品化をはじめ、宮城県女川町の企業との協業なども行っております。また、ブランド品種や新品種、産地直送野菜を使用したメニューをSalad Cafeで販売しました。（その他の取り組みは特集ページ、KENKO NOWにてご紹介しております。）

2022年度におきましても、継続する原材料価格の高騰、不安定な社会情勢など先行き不透明な部分はございますが、「KENKO Transformation Plan」の4つのテーマとサステナビリティ方針の各視点からのアプローチを継続し、今後も成長・発展し続ける企業活動・事業を構築してまいります。

株主の皆様へメッセージ

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響が続く中でしたが、待ちに待った東京オリンピックも開催され、私も選手の皆さんに勇気をもらいました。その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻など、世界では心の痛む出来事も絶えません。そのように急激な変化を見せる時代ですが、私達ケンコーマヨネーズグループは以前より「食を通じて世の中に貢献する。」「心身（こころ・からだ・いのち）と環境」を掲げ、着実に歩みを進めてまいりました。当社に関わる全ての方々と環境の問題に真摯に取り組むことが、お客様・株主様をはじめとするステークホルダーの皆様だけでなく、次世代のための価値創造になると信じています。そのためにも10年後、20年後を見据えたロードマップを描き、今後も事業活動を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

KENKO Transformation Plan

企業理念

CSV「共通価値の創造」

4つのテーマ

B to B to C

イノベーション

構造改革

グローバル

サステナビリティ方針

環境

社会

健康

- 温室効果ガス
- 原料
- 容器・包材
- 健康
- 人財

企業価値向上と持続的な成長へ向けた変革

中期経営計画の進捗について

1 B to B to C

消費者の皆様にご当社を直接知っていただく機会を増やす

小容量商品の拡充・リニューアル



ロングライフサラダ
118品

デザインを変更による
ブランド認知度向上
(デザイン変更は、内37品)

のせるだけシリーズ
5品

小袋 30品 テイクアウト等に対応した利便性



外食・内食：料理に彩り・味に変化を

マヨソース 5品 線引きが簡単に



自社ECサイト売上高

売上高
+8.3% (前年度対比)

購入可能商品数
約400種類



おうちごはん応援
オススメ商品
114品

2 イノベーション

環境保全を意識した中からNew KENKOを創り出す

プラスGOOD・マイナスGOOD商品の発売

栄養強化、素材へのこだわり、サステナブル、添加物削減など

→32商品を発売(PB含む)



添加物
削減

素材への
こだわり

キャロットラペ デイル風味
ビーンズサラダ バジル風味
パンプキンサラダ オレガノ風味

新しい「食の楽しさ」や「食スタイル」を提案

プラントベースフード

乳製品や卵、肉類を
使わず、植物性原料を
中心に仕上げたプラント
ベースフードの商品



受賞商品

「第7回 介護食品・スマイルケア食
コンクール」にて金賞受賞

- まごころ食彩® 冷凍枝豆サラダ
- ケンコープレミアム®ポテト



たんぱく質



食物繊維
オリゴ糖



第25回 業務用加工食品
ヒット賞受賞

・「サポドレ」シリーズ

ケンコーマヨネーズグループは、2021年度より中期経営計画「KENKO Transformation Plan」をスタートしております。
これまでの進捗の一部をご紹介します。

3 構造改革

基盤事業の成長を目指すための改革実行

改善活動

本社で改善・ロス削減課題を洗い出し
→ 276課題を抽出

全体の **37.3%** 課題解決済

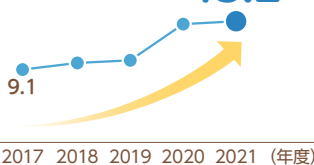
工場生産効率の改善
→ 利益への貢献

11億74百万円

女性の活躍に向けた取り組み

- 育児休業制度の充実と就業フォロー
- キャリア研修の実施
- 若手社員向け説明会など

女性管理職比率(%) **15.2**



女性の平均勤続年数の向上
管理職登用、幹部候補育成

2017 2018 2019 2020 2021 (年度)

4 グローバル

グローバル事業の基盤強化

輸出版売売上高

輸出版売売上高



2020 2021 (年度)

主な輸出国

- 北中米 アメリカ、カナダ
- オセアニア 豪州
- アジア 中国、インドネシア
- 欧州 英国、フランス

マヨネーズ・ドレッシング類を中心に**49の国と地域**に
商品を輸出

2020年度比
3か国増加

輸出用の長期賞味商品の拡充



サステナビリティ

課題	2021年度実績	2023年度目標
温室効果ガス削減	CO ₂ 削減 -2.7% (2019年度対比原単位) 代替冷媒への切り替え 91%完了	CO ₂ 削減 -3% (2019年度対比原単位) 代替フロン 代替冷媒への切替推進
持続可能な包装資源の活用	マヨネーズ外袋をバイオマスインキへ切り替え検討	包材・資材の軽量化
廃棄物の削減	グループ全体で -8%の削減 (2019年度対比 原単位)	廃棄物・加工ロスの削減 -5% (2019年度対比 原単位)

※目標は、社会環境変化に応じて見直してまいります。

Upcycling

ダイエツクック白老では、カット野菜製造時に生じるキャベツの芯を使用したアップサイクル商品を販売中！関東ダイエツクック神奈川工場でも開発を進めています。



開発中

ビビンバ丼



2021年12月発売
芯ごとキャベツの
つぶつぶコルスロー

炒飯

KENKO

NOW

マヨネーズの
PRキャラクターとして
「まよにい」が誕生！

ドレッシングの日
PRキャラクター
どれしい

“サラダショップが作る、野菜のお菓子。”

新ブランド「YASAI no OKASHI」が誕生

サラダ専門店「Salad Cafe」初の野菜スイーツブランド「YASAI no OKASHI」が誕生。野菜とスイーツを掛け合わせ『健康と癒し』をお届けしたいという思いを込めています。2022年2月に京王百貨店新宿店、5月に新宿高島屋へ催事出店しました。



Chef's DELI
WaSaRa



『Chef's DELI/WaSaRa 渋谷スクランブルスクエア店』オープン！

関東初出店のお酒に合うデリカメニューを提供する「Chef's DELI」と、和の素材・和の心にこだわった和サラダ専門ブランド「WaSaRa」のダブルブランドで新店舗を2022年3月31日にオープン。店舗限定メニューの他、各ブランドの人気商品を取り揃え、“こころ”も“からだ”も満たされるサラダ、デリカメニューをお届けします。

地方創生への取り組み開始

2022年3月、宮城県女川町の鮮魚販売や水産食料品の製造・販売を行う㈱鮮冷とコンサルティング会社のくりや㈱と協業し、地方創生に向けた活動を開始しました。地方の魅力ある食材や技術に、当社の開発力を掛け合わせ、人材不足へのアプローチや地域経済を活性化させる取り組みを行います。

4月発売 オリジナル海鮮丼

道の駅「おながわ」内の
「お魚いちば おかせい」にて

マグロとクリームチーズの
旨辛コチュジャン風丼
（「旨辛コチュジャンソース」使用）



カツオのつけ盛り にんにく醤油丼
（「極うまにんにく醤油だれ」使用）



蒸し牡蠣の味噌だれ丼
（「極うま味噌だれ」使用）



ガーリックバターソースの魅力再発信

発売から10周年を迎えた「ガーリックバターソース」。2021年度にはSNSを活用したPRや特集ページ開設、YouTubeやTV番組への商品提供などで魅力を発信した結果、ドラッグストアやベーカリーの店頭物販での新規導入、ECサイトの販売数増加、Amazon「たれ・ソース」カテゴリー ベストセラー1位にランクイン、TVでの露出増加など、多方面でその成果が見られました。

「特集ページも公開中 /

びしゃがけ選手権

https://www.kenkomayo.com/pro/pages/feature1_bisayake01.aspx



株主優待

今回より、一部の株主優待を、株主の皆様にお好みの製品を選択いただく方式に変更いたします。

株主優待の内容を充実させることで、当社グループへのご理解をさらに深めていただき、より多くの皆様に当社株式に対する魅力を感じていただくことを目的としております。ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

(選択の詳細につきましては、第65回定時株主総会の決議通知に同封いたします。ご不明点等ございましたら、お問い合わせください。(総務本部：03-5962-7777))

1,000株以上の保有株主様 (当社製品2,500円相当) (製品例)



- ケンコーマヨネーズレストランの味
- 神戸壺番館。クリーミーナッツドレッシング
- 神戸壺番館。玉ねぎドレッシング
- ガーリックバターソース
- ジャーマンカレーケチャップ
- 野菜とおいしいパスタソース (芳醇バターしょうゆ)



- ケンコーマヨネーズレストランの味
- 神戸壺番館。クリーミーナッツドレッシング
- 神戸壺番館。粗挽き金ごまドレッシング
- ガーリックバターソース
- テキサススタイルバーベキューソース
- 野菜とおいしいパスタソース (コク旨たまねぎ)

権利確定日 決算期末(3月31日)現在の株主様に対して年1回

選択時期 ● 100株以上1,000株未満の保有株主様

▶ 選択の必要はございません。

● 1,000株以上の保有株主様

▶ A・B・Cからおひとつお選びください。(決議通知に同封の返信はがきにて、**2022年7月29日必着**)

※ 指定なしの場合は、Aを送付いたします。

送付時期 2022年9月中旬頃より順次発送

100株以上1,000株未満の保有株主様 (当社製品1,000円相当) (製品例)

- ケンコーマヨネーズレストランの味
- 神戸壺番館。フリーミーナッツドレッシング
- ガーリックバターソース



- のせるだけキーマカレー ×2
- のせるだけタコスミート ×2
- のせるだけガパオ ×2
- のせるだけ魯肉飯
- のせるだけ肉末芹菜

※ 全て冷蔵品

新商品のご案内

2022年6月1日発売

当社初のパスタソースブランド 「野菜とおいしいパスタソース」

野菜とパスタを手軽においしく食べるパスタソースです。これまで培ってきた、野菜をキーとし、食材や調理法でサラダを進化・発展させた「サラダ料理®」のノウハウとソース類の開発力を駆使し、野菜をもっと手軽においしく食べるための新しいパスタソースを開発しました。

特集
ページ

https://www.kenkomayo.com/pro/pages/feature1_yasaipasta.aspx



2022年6月15日発売

当社初の缶詰商品ブランド 「CANDISH™」

旨味豊かなソースで味付けし、缶を開けるだけでそのままおつまみや食事の一品になる缶詰です。「CANDISH™ saba」は、青森県八戸港水揚げのさばを使用。さばのふっくらやわらかな食感にソースが染み込んだ絶妙なおいしさです。

特集
ページ

https://www.kenkomayo.com/pro/pages/feature1_candish.aspx

※「CANDISH」はケンコーマヨネーズ株式会社の商標です。



当期のポイント（連結）

売上高

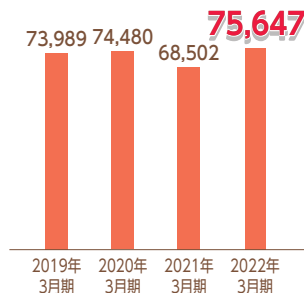
- ファストフード向けの売上が引き続き好調に推移したことやマヨネーズ類等の価格改定を着実に実施した結果、増収で着地

経常利益

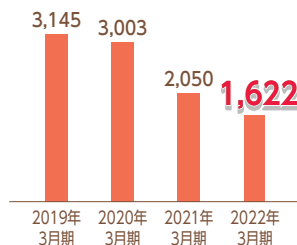
- 価格改定を含む売上高の増加、生産効率の改善、全社を挙げた固定経費の削減を進めたが、想定を超える原材料価格高騰の影響を受けて減益

● 連結財務ハイライト（単位：百万円）

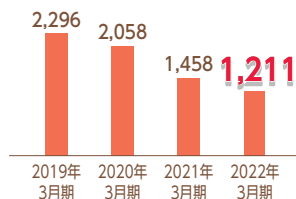
売上高



経常利益

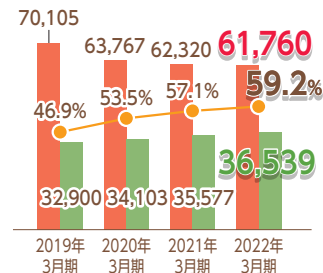


親会社株主に帰属する 当期純利益



総資産・純資産／ 自己資本比率

■ 総資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率

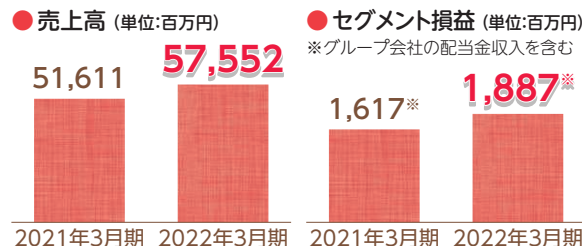


※2023年3月期(予想)につきましては、原材料価格の変動やエネルギーコストの動向、円安やウクライナ情勢などの地政学的リスクを鑑み、現時点では算出が困難なことから未定としております。今後、連結業績予想につきましては、合理的に予測可能となった時点で速やかに公表いたします。



セグメント別営業概況(連結)

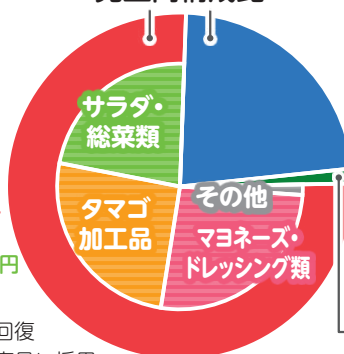
調味料・加工食品事業 76.1%



主な事業内容

サラダ・総菜類 (ポテト/ごぼう/ツナ等を使用したロングライフサラダ等)、
タマゴ加工品 (厚焼き卵、錦糸卵、
タマゴサラダ等)、
マヨネーズ・ドレッシング類の製造・販売

2022年3月期 売上高構成比



サラダ・総菜類 売上高 17,141百万円

ポイント▶ ● 主要商品である1kg形態のポテトサラダが外食向けなどで売上回復
● ファストフード向けのプロモーション商品に採用

タマゴ加工品 売上高 19,300百万円

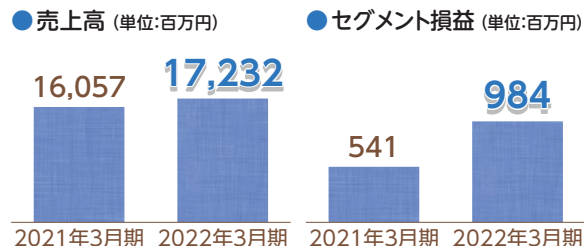
ポイント▶ ● 大手製パンメーカー、コンビニエンスストア向けのタマゴサラダが増加
● 外食チェーンやコンビニエンスストアでの厚焼き卵の採用

マヨネーズ・ドレッシング類 売上高 20,033百万円

ポイント▶ ● 小型形態商品やテイクアウト商品拡充
● 価格改定効果など

その他 売上高 1,076百万円

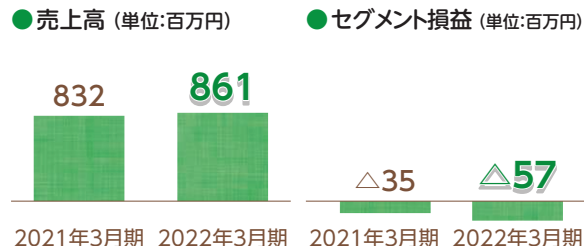
総菜関連事業等 22.8%



主な事業内容

● 国内の連結子会社7社が行う事業
フレッシュ総菜 (日配サラダ・和惣菜)
の製造及び量販店等への販売
● ケンコーマヨネーズからの調理加工食品
及びタマゴ加工品の生産受託事業

その他 1.1%



主な事業内容

ショップ事業 (Salad Cafe) 及び海外事業※

※海外事業は持分法適用関連会社のため売上高には含まれません。

会社概要 (2022年3月31日現在)

会 社 名 ケンコーマヨネーズ株式会社
KENKO Mayonnaise Co., Ltd.

設 立 年 月 1958(昭和33)年3月

本 店 所 在 地 兵庫県神戸市灘区都通3丁目3番16号
(東京本社)東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号

資 本 金 54億2,403万円

従 業 員 数 3,192名(連結)

証 券 コ ー ド 2915(東京証券取引所市場第一部、
2022年4月4日よりプライム市場へ移行)

ホームページ www.kenkomayo.co.jp

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 33,500,000株

発行済株式総数 16,476,000株(自己株式 200,578株を含む)

株 主 数 13,745名

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ティーアンドエー	1,457	8.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,260	7.75
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	761	4.68
第一生命保険株式会社	757	4.65
NORTHERN TRUST CO. (AVFC)RE HCR00	745	4.58
日本生命保険相互会社	577	3.55
株式会社三井住友銀行	559	3.44
キッコーマン株式会社	491	3.02
一般財団法人旗影会	450	2.76
伊藤忠商事株式会社	448	2.75

※持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

役員一覧 (2022年6月28日現在)

代表取締役社長	炭井 孝志	社 外 取 締 役	櫻本 和美
取締役 副社長	寺島 洋一	社 外 取 締 役	今城 健晴
取 締 役	川上 学	社 外 取 締 役	三田 智子
取 締 役	塩谷 正樹	常勤社外監査役	神田 憲樹
取 締 役	島本 国一	常 勤 監 査 役	渡辺 亮彦
取 締 役	立花 健二	社 外 監 査 役	田島 正人
		社 外 監 査 役	原田 義夫

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年6月

株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
期末剰余金配当 3月31日
中間配当 9月30日

単 元 株 式 数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



SNS
情 報

ケンコーマヨネーズ



Twitter

https://twitter.com/kenko_mayo

すぐに活用できる商品情報や
気になるレシピも随時配信中!



Instagram

https://www.instagram.com/kenko_mayo/

商品を活用した社員オスメシバなど
お家で簡単に作れるメニューを
多数ご紹介!

サラダカフェ



LINE公式アカウント

2022年4月開設!

<https://page.line.me/846fmpyt?openQrModal=true>

お友だち登録で初回登録特典のクーポンをプレゼント!



Twitter

https://twitter.com/Salad_Cafe_plus



Instagram

https://www.instagram.com/salad.cafe_official/



ケンコーマヨネーズ株式会社

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号

電話/03・5941・7682 (経営企画本部 広報部 広報・IR課)

FAX/03・3247・8818